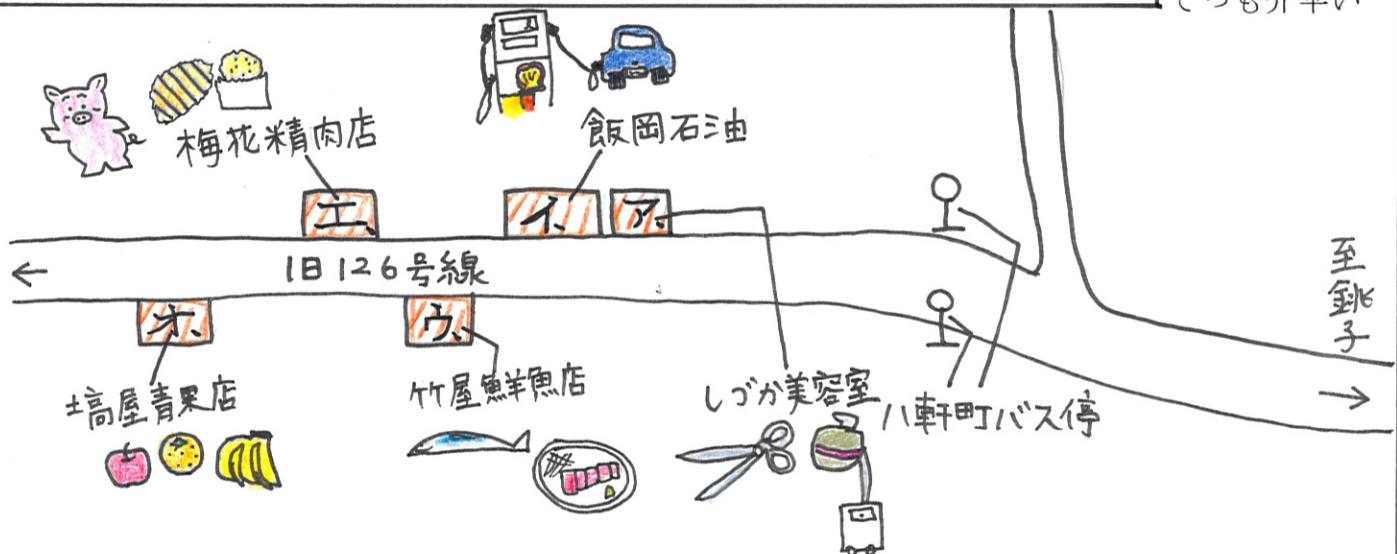


するでに混手る理社一海日かセイイ笑もさえ毒被し五やめ鏡ボセア応て出す松る一
も明のも社大乱押よし長や水からん店TEL、い楽しなで災ず月つに以イン内TEL、援いたる、お津
がるで相長変でしうてがべにら四チは5飯がしいか全しつのてな外ラチに5ししる地。行店波
んい千談は喜殺でに何自ア浸営日冠一7岡たい店つ額た始連ほつの1の17づて。域津内「に
ば奥客に親ば到販しとカリか業後水メ1石えお長たの人め休したもや津メ1かほ是で波地の負
つ様万乗切れし売たかでンつをのし13油なし。と料かた明い。の室波12美し非甚で区第け
てと来つでたし。給洗グた再三たト0い。や店い金ら。けど常は外がト0容い。行大亡の三ず
いス。て、と給た当油淨部モ月がル9ベはうはは當か頼連全機入ル8
るタくなう油が初出、分1十津五2りい心も気初らま客てなつ五2
。ツれん。客、は來修をタ。五波十とつやらの、少れにだどて十

津波に負けずがんばっているお店を応援しよう！～第三弾～

至八日市場

至銚子



みてを開ばわいが大入才喜れ文ケ始れい開ヤ踏エも氣奥でくら月初に藏ウ、
にら置話しつれおるつ型つ三TEL、ばるにかめてつしはにみ津TEL、注でさごがれ馴に開み庫倉TEL
し話い好たてて店ごて冷てメ5塙れか応らた六店か無な場波5梅文あま主にて染入店ん、庫5竹
てしてき。ゆ何が主し藏店17屋てらじト。月をし理つもに7花にる手人ば、みつはな商、7屋
い込おのことな人ま庫のト1青い熱てン店中始孫とてな入1精応。作のつ注のて無持品い1鮮
る。ん客ごうかいにつに全ル2果る々そカは旬めにあいいら2肉じ鮮りつて文お古理つにけ2魚
でさ主と夫と、た至商を3店がのツ小頃る「きたほれ0店て魚のくるやも客いかていす1
ゆん人、婦困近。る品超8食場まさかのばら。どた4いの各るうは買板思かる車、
くがは五二る所落ま、え)べででいらーあめこガ店1來が看といた、0
の買店月人よのちで自るら揚おが少とちてれシ内
をいに末で、人込浮販津れげ客コし励やいでヤは
樂物椅頃がとかんき機波るてのロづまんたはガ足
しが子再ん言らで上、がとく注ツつさ、再シの
る。ほ種おとじいをつれま、
か総刺仕菜身と思つたで冷
出がと、た。のてた四当波冷
し人

Tel	090-8747-5684	info@tuberi.jp	編集後記
早いものでもう十二月。 早い年に向かってみんなで新し い意見を復興の年にしましよう。 メルア待ちしていきます。			

*復興かわら版は、旭市役所、
各支所、カントリーハウス海辺
里、掲載された店舗その他にお
いてあります。



三孝今、足道旭全旧倒状な波
月通後旧洗、市域工市壞化被被
まり予海、でがで事建、現害象をを
で、定上中現担6を設陷象をを
に八の谷在当0必課没にも免
に終了する予定。来川上蛇ははの
年親、(旧名の路に上する箇道)で災
辺。三海、所事ばはの、屋に様
の不。園東市。旭復の液々津

すすむ復旧工事

ん岡 たま岸を いるし方光にす
かを皆くし通う町まよて々客よテま
。取でさたりけはすう家がのついた
り力んがにま震 戻をおも徐し災
そ合られらと々たに。よ
うわれまに今より
でせます。れがよ甚
は元氣な建う大
ありまな始く被
せ飯 もめ海害
てれとの観トエ

た光つた揚港すそ灯 | 十る子は産
。客で飯げのばこ台と九の高な業
のも岡の中らか、い里は齡いの私
増らのあでしら行わのむ化と發
大い良る眺さ見部れ東ずの考展
を、さ飯子、る岬る端か中えなく
目飯を岡漁千富展屏でしで人き
指岡多漁港葉士望風東い。口まで
しをく港に県山館が洋。口まで訪
て訪の、次六と光浦のそ増し町併前
きれ人とい十夜とドコをたの前
まるにいで九景風飯 | では。發よ夫会
し觀知つ水漁の、岡バ九か少展り
飯岡観光協会は合併後和軽長

戻そう 元気な飯岡を取り
元気な飯岡を取り

復興かわら版 いいおか津波

編集・光と風キャンペーン実行
委員会（旭市まちづくり事業認定団体）

発行・旭市上永井一二一七

体験語り継ごうー私の津波
伊藤祐子さん（三川）

海岸道路を車で走つ
立ち目どのがれわら車の斜め後ろから津
立ちき那ま商割たれ様たな
竹泳て川つ店れ首かたのたな
垣に捉まつて助かつた。松。衝トラックで後ろにぶつ
が水波か木ごとと流ぶ波で後ろにぶつ
つど降ぶつさの波のつとたかれがつ波で
商店がつりつさの波のつとたかれがつ波で
玄た入直つ近ラけにい
玄た入直つ近ラけにい
関。つ後てくスら襲た

がか一面と前道で 梅花繁久
るつ階か流のを海帰
ることにらさ家乗を宅し
よい津れがり見して
ことがうたがいをえいす
やや母は入りたるたぐん
でできくは胸
きくは胸
二階ままで自てが津階（行
内）
には水ぬけた。正ご。歩つ
いににれえが上
いにも家た遊が
あつ。

おしまれるとつご隣津な
しひ家での津たを家波つ
まなにきが波。架とがた
がいいた見がそけの入の
つた。え渦のて境つで戸を開けた
て自ら怖たを直三にあ
全宅死か。ま後メー
はんつ車い路一電柱とつたんか
へでたがて地ト電柱とつたんか
のい。何上かルタまに静
字あ台つらまにに
形かのもてどでは上しに
にもま流来つ上しに



島田庄司さん（横根）
が血らをれでしれ急津
島
後し逃引てあたてい波一階の仕事場にいた
で、げいきつ。玉サバーフと入つてき
わ母たたて外崎サバーフと入つて
かは。り。車に神シマを閉
つ骨瓦背泥が出社まで
した。折礫負水何たま
しでつの台らで手た中も海逃めで
い足りを浮水げよ母
たかし母いがよよ母
こらなので腰うを
と出が手流まと連



*津波体験を募集しています。

主催者による内場防災教室&地域観光を
見るシンボジウム（仮称）
参加者募集！

いいおか津波を学ぼう
いい防災教室&地域観光を考
え
日時：平成二十三年十一月二十六日（土）
午前（被災地の話、防災地を見学）
午後（震災後の地域観光）

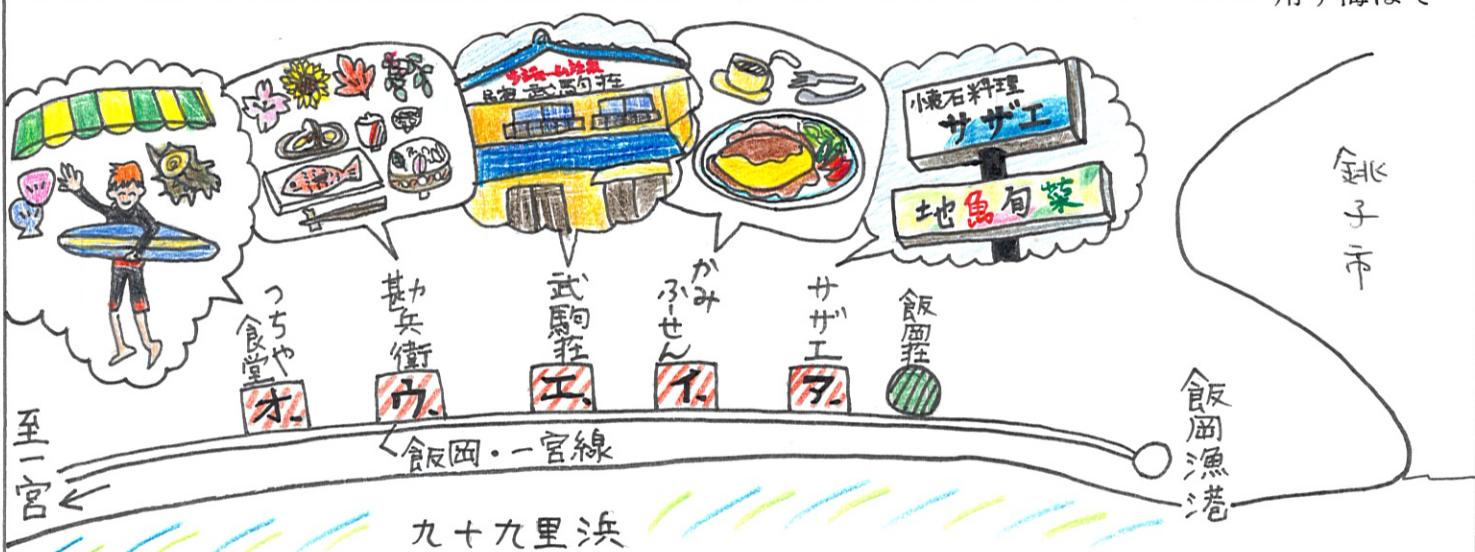
主催：旭市飯岡地区
後援：飯岡観光協会、他
電話：090-8745-6844
実行委員会



津波で止まつた時計塔
さの語はさ語塔で時A
れ保り「んりが止計ち
た存継津 始十ま塔ば午
月五日まは三月十日一日飯岡支店
をぎ波の引会「（いだ。日この大津店
Aい恐ろしされた。仲おこの大津店
に申してを後了計世同富津時計波のJ
入れられられられられられられられられ
承塔に会夫波計波のJ

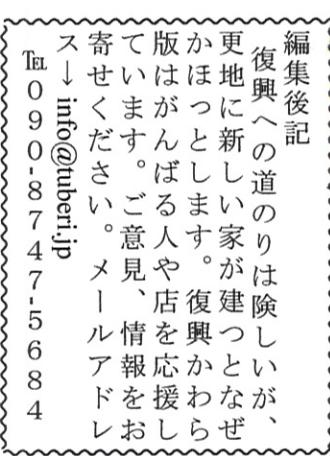
スも夢自二開つるる今才以さ海へみにとをん作が二たがんたををたア店へしる岸津い
は店がだ分十でた。と回し上れ側直ふイは。大とり店ん月。來テくつ壊。ルは直アて。道波る一
絶主んつの六きのそかのプのての五。定こ事の料のば才現てイさきし津し二五、應是路被お津
品自ばた店日るでれな修ン浸床窓七せカ評のに人理自つ。在くアんぬな波た年七懷援非沿害店波
。慢つのをにと修でり理し水上やんフが店間、慢て普修れ、のけがはば前一石し、いのに
のてで持再判理もの費た。一入五エあのまはいン築て常友たら玄に二料て行の大の負
オゆこつ開断す建負とば七メリ五おる。懷てつた店るめ中励連人。自関カリ四理ほつ五き第け
ムく。れこしれ物担合か年一ロ三食石いなお主ざだま客やす宅かりニーサして店か二ず
ラかとた四ばがにわり前トが一事料るが客のしがさなボぐとらだユ五ザい。食舗つ弾が
イらが。月再残なせでにル壞理こりさ手て十れどラに店壁つ。エベをたんて紹三今ば
利介川回つ用す海はて

津波に負けずがんばっているお店を応援しよう！～第二弾～



てす食ほ貝五ら来一ご庫店す十起改思ヨ陥海宅津り一
お定め堂つ類月れてついがのTel才め一を修ツツ没がま波入民工し
い食はへき販一くてア勢浮正五、料月かすたクしわでは浴宿五
し、さ8貝売日すれ一いい面七お理才けれ。をたの突ペ一、七武
い肉し時、へオぐてただてか五事金普再十かけ被ン抜シウジ食五荘
とどみうかは一に、ちつ天ら七處目ん開分し再害シケヨム事七八
評う定4きま再そがた井津八。煮。を使民開のヨてン、温泉宴會、
判ふ食時だ。定。定。開の大。を波二つ付店決え宿は大ンほ
食サ店。一主安フおくアす。決い手連つ入ちけ主意ると無きはぼ民
。けにサス蔵や定のしの自理さ土全宿。食食おたで宅かに台壊、日帰

樂あ法五つ開残えてた階
ウ、季節料理・勘兵衛
お休営銚子てのをた七た町生を空子つ
若使魚兵。普を呼び觀て
者つと衛そロ目び店音銚
がた銚。のジ指込舗界子
店海子銚一エしみが限で
長鮮特子つグて新目。も
と井産港がト。た立今つでと
し店のでこ。わなつではも
が二い揚觀立わ街こ衰榮
ん十口げ音ちく地こ退え



5 間	1 い	3 合	1 わ	3 せ	3 0	4 7	9 1	2
お休営銚子	市	飯	沼	町	一	一	六	
業	い	時	十	時	三	時	(水曜)	
子	い	間	九	九	九	九		
て	い	分	八	八	八	八		

ば三醤さ食上門のにした
1観音食堂・七兵衛が才
普

傾いていた なな地まをあ未活る楽し堤堤を
け新「こめ震りげ城しはる来しだにた防防消新稻だを長鐘小稻しこ芝二員旭
た生復とに災までのたか濱像まけす。づづす作むつ高のを僧むたろ居年長
い「、旧でもですこ様。れ口でせのる「くくな」らた台家つはら。あを前、
と「す未傷。そ々大「梧すん受」働りり「津の。ににき火に村る上、
犠な震と稜。けこ「被波」牲問災いは村復身と「復だ、
者題をう「長興ででと災が続」か稻
へのバ言百のとはすは者は稻
の解ネ葉世モは地。がるらむ
鎮決にをのデ地域施は働く
魂にし残安ル域はさたきす。の火
についてし堵での復れをま。

戦人村早でのまの紙
一員旭
市復興計画検討委員会委
千葉科学大学教授、
船倉武夫会委
がたこ火ンまさ波た体
旧めのゴすのが。育
来のがたン。判襲幕館
の作村めと寺断い末で

復興かわら版

いいおかの復興に
いいおか津波

夏休み親子防災教室に 三十九名が参加

編集・光と
風キャンペー
ン実行委員
会(旭市まち
づくり事業認
定団体)
発行・旭市
上永井1217



史玉が災た 災九月四日（金）ヤンペーイン実行委員「光と
文崎説者海当教人室」対象に参加した親子や船
化神明で岸日は沿を開いた。夏休み親子や船
に語りを被り、被害の大きさが津波か
立ち歩いた。途中、々親らも津波か被つ
ながら会」。途中に、々防十市八キ
に立寄つて町の歴



「ら波たうのやずが宅セ 高
トがが。に方が浮異ヘン母 橋
ルら乗飯見がてい常戻タと
四逃り岡えも海たにつ「近
十げ越莊たやがり高たへ所
セたえのが真沈く。避のお
ン。た前はかっん船海難お
チ家の波か黒だがをさ年
まはを防のつにし沖見せ寄
で床見風飛てなしてたてり
浸上で林沫いつ出らかを軒
水一命をだるてた。いら水ら福町
。メか津つよ西。れ面白社」



仲方れ津波体験談を話していくく
條富夫さん（大崎町）
三月十一日、午後五時ころ、
車で海岸道路を自宅に向
に自よ店さ前のたメか自
入宅うのれもま。一転走
つはやサて通ま自トで
て全くツツシ中過し車以
夢り押転ルでぎ流が上
に壞しから一部に出し
にいりて今顔をかか
て今は仮設せたて
設せたて住た。魚流のそれ二向
に自よ店さ前のたメか自
入宅うのれもま。一転走
つはやサて通ま自トで
て全くツツシ中過し車以
夢り押転ルでぎ流が上
に壞しから一部に出し
にいりて今顔をかか
て今は仮設せたて
設せたて住た。魚流のそれ二向



んかか壊がれてつ灰声 向後富子さん
呑らられして車て色が「津
んず降たてき、きのし津
でこり。家た樽た大て波
しろよ捉の。波玄が
まんうまドガあ波が関きた
た。海してやヤゆ渦に出ぞ
水てい中ガるをがて「み
を深たのシも巻ぼる
たさともヤのいつる
くがこのとがてとと
さわろが音流入入



和久純一さん（横根）
突たむてたて津とで
きめ直い。入波二甘く最初
抜に前た妻つがけ助
がはてバでみの
てか私手最きバ出て津
ほつがが初たばてし波
ばた妻離松。いまが
全壞津手て木はと。
で波を水に海渦い
あは握中捕にをき庭つ
る家つにまな巻なにた
。をた沈つついり妻の

*津波の体験を語り継ぐことは防
災と復興の要（かなめ）です。津
波の体験を語ってくれる方、体
験を聞きたい方も募集しています。

